2006.10.4
+カンパパ

11

指揮者のために。ダビデによる

1 主に私は身を避ける。
どうして、あなたたちは私のたましいに言うのか。
「鳥のように、おまえたちの山に飛んで行け。
2 それ、見よ。悪者どもが弓を張り、
弦に矢をつがえ、暗やみで
3 心の直ぐな人を射ぬこうとしている。
拠り所がこわされたら正しい者に何ができようか。」
4 主は、その聖座が宮にあり、
主は、その王座が天にある。
その目は見通し、
そのまぶたは、人の子らを調べる。
5 主は正しい者と悪者を調べる。
そのみこころは、暴虐を好む者を憎む。
6 主は、悪者の上に網を張る。
火と硫黄。
燃える風が彼らの杯への分け前となろう。
7 主は正しく、正義を愛される。
直ぐな人は、御顔を仰ぎ見る。

天聖座 主在
YHWH
見 調愛 調憎 火硫黄
義人 悪
義人は主を見て見を避ける
悪を憎む者を憎む
義人を主は愛する

悪者には災火 主は義人を試し 悪人と暴力を愛する者を憎む 主は天座で見て調べる 直人・義人に矢を射る悪者 主に依頼

主に依頼 矢 直人 天の聖座で調べる 義人は主を見る 悪人は憎む 災火

2006.10.2

9

指揮者のために。「ムテ・ラベン」の調べに合わせて。ダビデの賛歌

1 私は心を尽くして主に感謝します。
あなたの新しいわざを余すことなく語り告げます。
2 私はあなたを喜び、
いと高き方よ。あなたの御名をほめ歌います。
3 私の敵は退くとき、つまずき、
あなたの御前で、ついえ去ります。
4 あなたが私の正しい訴えを支持し、
義の審判者として王座に着かれるからです。
5 あなたは国々をお叱りになり、悪者を滅ぼし、
彼らの名をとこしえに消し去られました。
6 敵は、絶え果てて永遠の廃墟。
あなたが根こそぎにされた町々。
その記憶さえ、消えうせました。
7 しかし、主はとこしえに御座に着き、
さばきのために ご自身の王座を堅く立てられた。
8 主は義によって世界をさばき、
公正をもって国民にさばきを行なわれる。
9 主はしいたげられた者のとりで、
苦しみのときのとりで。
10 御名を知る者はあなたに拠り頼みます。
主よ。あなたはあなたを尋ね求める者を
見捨てになりませんでした。
11 王にほめ歌を歌え、
シオンに住まうその方に。
国々の民にみわざを告げ知らせよ。
12 血に報いる方は、彼らを心に留め、
悩む者の叫びをおろそかにはなさない。
13 主よ。私をあわれんでください。
私を憎む者から来る私の悩みを見てください。
あなたは死の門から私を引き上げてくださる。
14 私は、あなたのすべての賛美を語り告げるために
シオンの娘の門で、
あなたの救いに歓声をあげましょう。
15 国々はおのれの作った穴に陥り、
おのれの隠した網に、わが足をとられる。
16 主はご自身を知らせ、
さばきを行なわれた。
悪者はおのれの手で作ったわなにかかった。
17 悪者どもは、よみに逆戻りして行く。
神を忘れたあらゆる国々も。
18 貧しい者は決して忘れられない。
悩む者の望みは、いつまでもなくならない。
19 主よ。立ち上がってください。
人間が勝ち誇らないために。
国々があなたの前で、さばかれるために。
20 主よ。彼らに恐れを抱かせてください。
おのれが、ただ、人間にすぎないことを、
国々は思い知らせてください。
セラ

主は賛者を忘れず、国々に御名を知らせる
YHWH 忘 歌 国々 忘 賛者 覚
信者は、義のさばきを行なう主の御名を歌う

d d c c a a b b a
人々のわざを知らせる 主知 己穴 神を忘れる 賛者を忘れない 死亡 救出 賛者を忘れない 御名を知る者 義の主座 義の主座 御名を歌う者

人間に知らせる 神を忘れる 賛は×な 己穴 主知 死亡 救出 賛者を忘れない 義のさばき 祈める者を見捨てない 名は消される 名は忘れられる 主に賛美して 喜び踊る

12

指揮者のために。八弦の立琴に合わせて。ダビデの賛歌

1 主よ。お救いください。
聖徒はあとを絶ち、
誠実な人は人の子らの中から消え去りました。
2 人は互いにうそを話し、
へつらいのくちびると、二心で話します。
3 主が、へつらいのくちびると傲慢の舌とを、
ことごとく断ち切ってくださいますように。
4 彼らはこう言うのです。
「われらはこの舌で勝つことができる。
われらのくちびるはわれらのものだ。
だれが、われらの支配者なのか。」
5 主は仰せられる。
「悩む人が踏みにじられ、貧しい人が嘆くから、
今、わたしは立ち上がる。
わたしは彼を、その求める救いに入れよう。」
6 主のみことばは混じりけのないことば。
土の炉で七回もためされて、純化された銀。
7 あなたが、主よ、彼らをお守りになります。
あなたはこの時代からとこしえまでも
彼らを保たれます。
8 人の子の間で、
卑しいことがあがめられているときには、
悪者が、至る所で横行しますように。

聖徒絶える 聖書 vs 偽善 わからは主
聖書の真理 偽りの確信

卑しいことから 守 聖書 救いの約束の ことば 勝利の確信の ことば くつる舌 不誠実から 救

2006.10.3
+カンパパ

10

1 主よ、なぜ、あなたは遠く離れてお立ちなのですか。
苦しみのときに、なぜ、身を隠されるのですか。
2 悪者は高ぶって、悩む者を追い詰めます。
彼らが、おのれの設けたたくらみに
つかまりますように。
3 悪者は、おのれの心の欲望を誇り、
貪欲な者は、主をのろい、また、侮る。
4 悪者は高慢を顔に表わして、神を尋め求めない。
その思いは「神はいない。」の一言に尽きる。
5 彼の道はいつも栄え、
あなたのさばきは高くて、彼には届かない。
彼はすべての敵を、はいらない。
6 彼は心のうちで言う。
「私はゆるぐことがなく、
代々にわたって、わざわいに会わない。」
7 彼の口は、のろいと欺きと虐げに満ち、
その舌の下には害毒と悪意がある。
8 彼は村はずれの隠れた所にすわり、
隠れた所から罪のない人を殺す。
彼の目は不幸な人をねらっている。
9 彼は茂みの中の獅子のように
隠れた所で待ち伏せている。
彼は悩む人を捕らえようと待ち伏せ、
悩む人を、その網にかけて捕えてしまう。
10 不幸な人は、独り者によって砕かれ、うずくまり、
倒れる。
11 彼は心の中で言う。
「神は忘れている。顔を隠しているから、
決して見ることはない。」
12 主よ。立ち上がってください。
神よ。御手を上げてください。
どうか、苦しむ者を忘れないでください。
13 なぜ、悪者は、神を侮るのか。
「あなたは追い求めない。」
と心の中で言うのか。
14 あなたは、労苦と悩みを見ておられます。
見つめておられます。
あなたの御手に報いようと。
貧しい者は、ご自分をあなたにゆだねます。
あなたは、みなしごの助け主です。
15 悪者の腕を折れ。
悪者の悪は、
あなたが調べ尽くされるまで、
見つからないようにせよ。
16 主は、とこしえからとこしえまでも王である。
国々は、主の地から滅びうせた。
17 主よ。あなたは、貧しい者の願いを
聞いてくださいました。
あなたは彼らの心を強くしてくださいます。
耳を傾けて、
18 みなしごと、しいたげられた者を
さばいてくださいます。
地から生まれた人間が、
もはや、脅かすことができないように。

主を侮る者は貧者をねらう
YHWH 貧者 悪者
主は貧者を忘れず、見て、悪者を懲し貧者を立てる

貧者を食う 主を侮る

私はゆるぐことなく 代々にわたって わざわいに会わない 神は忘れている 決して見ほしない 貧者をさばき 主を侮る者は 貧者をねらう

貧者の願いを聞いて ゆるぐことない 貧をさばき 代々にわたって わざわいにあわない 神は貧者を見ている 見ほしない 主は貧者を忘れない 神は忘れては 11 6

腸 待伏 腸 待伏 悩者・貧者になし 見ていない 忘れている 神になりして